

平成13年度「総合的な学習の時間」年間指導計画

小値賀町立小値賀中学校六島分校

1. テーマ 「六島と本土」

本校は、生徒1名という小規模校である。幼少の頃より、年の近い友達はいたものの小学校の頃からずっと学年に一名という状態で学習をしてきている。普段から多様な意見にふれる気が少ないこともあって、創意工夫する力が乏しい。また、ディスカッションなどをする機会も少なく、自己表現力やコミュニケーション能力も十分についているとは言えない。

昨年度、六島分校では「I live in 六島～だからこそもっと知りたい」をテーマに郷土学習に取り組んできた。今年度は、昨年度の郷土学習をもとに、そこから発展させ、六島以外の地域に目を向けさせ、他との交流を図りながら学習を進めることにより、環境問題等さまざまな社会問題について考えさせることを目的として本テーマを設定した。また、他の地域に目を向けさせ、六島と比較させることにより、郷土を見直す機会ともなると考えられる。

2. ねらい

- ・他の地域に目を向け学習するなかで、現状を正しく認識し、私たちの現在、そして未来の生活をよりよく創造していこうとする態度を身につける。
- ・個人テーマに沿って学習を進める中で、主体的に学習を進める上で必要なスキルを習得する。

3. 実施形態

- ・テーマ別、テーマ追求型学習
- ・教師全員が協力して生徒の支援活動を行う。
- ・基本的に連続2時間で実施、生徒の学習の進捗状況や郊外活動の計画などに応じて弾力的に運用

4. 内容

(1) 追究・表現

「六島と本土」というテーマのもと、個人テーマを設定し、課題追究を図る学習を展開する。また、学習のまとめとして、学習の成果を社会に役立てる方法を考え、活動を行い、生徒の個性を生かした表現方法で発表する。

(2) 主体的に学ぶ(課題追求型学習の)ためのスキル習得学習

課題追求型学習を行っていくうえで、必要なさまざまなスキルを習得する。

5. 構想

「見出す」「見通す」「追究する」「表す」「見直す」「役立てる」という学習過程において、それぞれの学習過程に必要なスキル習得学習を入れながら課題追究学習を行っていくことにより、主体的に学ぶ生徒を育成する、また、習得したスキルの実践の場として、また、相互啓発の場として、それぞれの学習過程にできるだけ交流学習の場を設定していく。

6. 年間カリキュラム

月	時	過程	内容	学習活動	教師のかかわり方	習得スキル
5	0.5	見出す	オリエンテーション	総合的な学習の時間のねらい、活動の概要、活動テーマの意味をつかむ。	・自分で課題を見つけ、活動計画を立てながら追求していく学習であることを理解させる。	

					・昨年度の総合的な学習の時間の振り返りを行いながら，今年度のテーマについて説明する．	
5	1.5		野外活動	野外活動のためのオリエンテーション 野外活動のねらい，活動の概要をつかむ	・野外活動の内容について説明する	
				スキル習得学習 1 インタビューの仕方・依頼の仕方・お礼状の書き方など		
6				学芸員さん等へのインタビュー，体験活動	・行事として実施	コミュニケーション能力
	1		個人テーマの設定	野外活動で調べたことを振り返りながら，個人テーマを設定する．	・テーマの設定ができない生徒に対して，活動の例を示すなどして自分のやりたいことは何か気づかせていくような支援を行う．	課題発見力
	1	見 通 す	学習活動計画	学習活動計画を立てる． 内容・調べる方法・表現の方法，どうやって役立てていくか	・活動内容が可能か，活動場所，時間の見通しを明確にもてるように支援する．	・構想力
7 9	8	追 究 す る	テーマの追究	課題追及学習 いろいろな方法で，交流したり，調査したりする．	・生徒の学習計画をもとに，郊外学習の計画，外部の人へのインタビュー依頼などの計画を立てる． ・生徒の活動状況を把握し，状況に応じて，自分で考えさせたり解決の方法を示唆して判断させたりする． ・必要に応じて外部の人にも参加してもらう．	・情報活用能力 ・問題解決能力 ・コミュニケーション能力
				スキル習得学習 2 課題追究の方法		
10 11 11	8	表 す	中間発表会	テーマ学習の成果をまとめて発表する		・表現力 ・コミュニケーション能力
				スキル習得学習 3 プレゼンテーションの仕方 まとめ方・図表化の方法など		

12 1	4	見直す	学習の振り返り	中間発表会を受けて、活動を見直し、足りなかったところを追究していく。		・自己評価力
	11	役立てる	学習成果の発信	学習したことを社会に役立てる方法を考え、活動する。	・社会に役立てる方法や発信する方法を提示し、判断材料とする。	・発想・想像力 ・表現力
			最終発表会	学習したことをまとめ、発表する 凝縮ポートフォリオの作成		
2	1	まとめる	学習の振り返り	学習の反省	・ポートフォリオ評価を活用する。	自己評価力

7. 評価

活動や学習の過程 報告書や作品、発表などに見られる学習の状況や成果などについて、生徒のよい点、学習に対する意欲や態度、進歩の状況などをふまえて、適切に評価する。また、それらを意識的に生徒地震に返していく。指導要録には評定は行わず、所見を記述する。通知表では、その学期に取り組んだ課題に則しての具体的な成果を、恒常的な目標、体験的な目標という観点から「ほめ言葉」を中心に記述する。

生徒は、毎時間の学習を振り返り、学習(探求)の過程が分かるように、振り返りノート(ファイル)を持ち、毎時間の計画、学習の成果などを記入していく